

シラスを利用した自力施工によるパドックの簡易舗装の方法

パドックのぬかるみ解消のため、自力施工によるシラスとセメントを混合した簡易舗装技術を開発

背景・目的

- ・畜産農家が黒ボク土やシラス等のパドックを使用する際には、雨水や糞尿などによる表層の泥濘化、牛体の汚れ等が問題
- ・高齢化が進み、労力的に定期的な土砂の入れ替え作業や清掃は困難な状況
- ・透水性や強度があり、安価で自力施工でき、さらに牛に優しいパドックの舗装技術の開発が必要

成果の内容



簡易しらすセメント舗装技術を確立

- ・県内に広く堆積するシラスとセメントを混ぜ、農業機械で自力施工することで、泥濘化しないパドックが安価に完成
- ・簡易シラスセメント舗装の自力施工マニュアルを作成

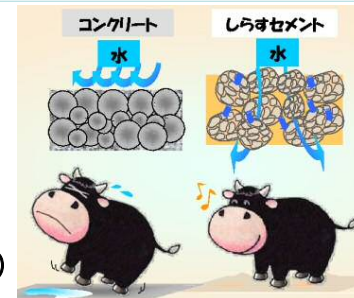


注) 当該施工は、(株)ストーンワークスと鹿児島県が所有する特許第3858070号「軽量シラス基盤及び緑化軽量シラス基盤とその製造方法」に特許に抵触しない範囲で了承を得ており、県内の畜産農家に限定普及するものである。

導入メリット

○簡易しらすセメント舗装

- ・表面に凹凸ができ、適度な透水性があるため、牛が滑りにくい
- ・モルタルブロック(5N/mm²)と同程度以上の強度があり、定期的な土砂の入れ替え作業が不要
- ・コンクリート舗装の1/3以下の価格で自力施工可能
- ・pHが中性なので、牛の蹄や肌に優しい
- ・黒ボク土やコンクリート舗装と比べ、日中の表面温度は2℃以上低く、朝夕の温度変化も小さく快適



簡易しらすセメント舗装で牛にも人にも優しいパドック建設が可能に

期待される効果

飼養管理の省力化による規模拡大や飼養頭数維持

鹿児島県農業開発総合センター 畜産試験場 企画環境飼料部 企画環境研究室

普及対象・範囲
県内の肉用牛農家、酪農家

(畜舎建設効率化推進事業)